

意見一覧

| 項目 | 内訳 | 意見 |
|------|---------------|--|
| 生徒募集 | スクールコンセプト | <ul style="list-style-type: none"> ・ どのような学校を作っていくというように考えているのかを知りたい。 |
| | 入学の条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 募集要項などはあるのか。どういう子ならいいのか、定員なども何人くらいなのか。希望したら入れるのか。 ・ 診断名や受給者証が必要等、入学の条件を知りたい。 ・ 学びの多様な学校と聞くと「みんなが通っていい」という認識もできる。言葉だけ聞くと、診断がなくても、不登校でなくても、通えるように感じる。 ・ 診断書がなくても支援級に入れる自治体もある。診断書がオープンドアの利用条件になるのはどうなのだろうか？ ・ 診断とってもメリットはない。すべての子どもに優しい学校であってほしい。 ・ 町の学校として作ろうとしているが、学区はどうなるか。近隣の市町村はどのように対応していくのか。 |
| | 教育支援センターとの相違点 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育支援センターとの違いは何か。入学から在籍がそこになるのか。 |
| 学習 | 日課・教育課程全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・ うちの子は起立性調節障害で、とにかく朝に弱い。学校に通うには、昼と夜の間が良かったりもする。その日によって登校時間が変わってもよい学校だと通いやすい。 ・ フレックスタイム制を取り入れたらどうか。学校生活のうちから、早めにそういった制度を体感させてあげられると良いのではないか。 ・ 中2～高3まで起立性調整障害。先生がとてもいい先生で、配慮してくれていたのを通うことができていた。軽高は単位制なので、単位さえとればいいのが助かった。今年の春に就職し、今は症状が出ていない。こういった子も見落とさないでほしい。 |
| | 手段 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲームで学校に行けたら（メタバース）行きやすい。 ・ 自分の子が、完全不登校になった際、オンラインでは学校と繋がれた。オンラインなども検討した方がいいのではないか。 ・ フリースクールも行ったが、学習に関しては自分の居場所ではないと言っていた。中学生になったが、午前中は体調が悪く学校に行けない時もある。こういう子のためにもオンラインなど考えてほしい。またオンラインであれば教室ではなく、別室で授業を受けることもできる。学校が良くても行くことができない、場所に入れないという子もいるのでぜひ考えていただきたい。 |
| | 内容（個別最適への対応） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外のように柔軟に対応していけるといいのではないか（飛び級⇄下の学年に下がって等）。子どもは一斉に成長しているわけではないので、その子にあった指導を検討していく必要がある。 ・ 理解力が高い子もいると思われるので、学習もどのようにしていくか検討が必要ではないか。 |
| | 内容（生徒の主体性） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 座学ではなく、体験型だと参加しやすい。 ・ やることが決められていることが辛いと感じている。提案してくれるのはありがたいが、興味を持たなければやりたくない。ある程度の規則や制限は必要だが、制限と自由が半々くらいだと通いやすい。 ・ うちの子はよく「こっちは教えてくれと頼んでない！」と言っている。 ・ 勉強はやりたければやればよいくらいの雰囲気があり、生きていく力をメインで学んでいけると良いのではないか。うちの子は家庭のそういった環境で過ごす中で、自然と「算数をやってみたい」と自発的に取り組むようになった。 |

| 項目 | 内訳 | 意見 |
|------|-----------|---|
| 生活 | 異年齢との関わり | <ul style="list-style-type: none"> 主に過ごす集団が同学年であるため、比較されることが多い。インドネシアの学校は、クラスが低学年と高学年で分けられているだけで、異年齢の環境でやりたい学びに取り組んでいた。 |
| | 校内のルール | <ul style="list-style-type: none"> 校則ややり方が細かく、疲れてしまう。 |
| 教員 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> 「学びの多様化学校」ができることは素敵なことだとは思いますが、先生(スタッフ)の働き方も考慮いただきたい。ボランティアなどの関わりも必要なのではないかと。期待と不安がある。 様々な子が来るとなるとスペシャリストの先生を呼んだりしないといけないのではないかと。そのようなところを整えないと大変なのではないかと。 |
| | 生徒との関わり方 | <ul style="list-style-type: none"> 先生が怒鳴っているのを見て怖くなり、クラスにいられず不登校になった。喋らないが、みんなと一緒にいたいと思っているようだ。 中学生になったからこうなさいっていうのは変だし、戸惑った。それなら小学校から話をしてほしい。先生の生徒への接し方や言葉遣いが小学校と中学校と違って驚いた。 中学生になると急にハードルが上がる。対応が大人対応になり、小学校まで一緒に考えてくれたのが自分で考えよう変わる。自分の意見を言うように言われても言えない。年齢ではなくその子自身を見て対応をお願いしたい。 |
| 相談体制 | 保護者から学校へ | <ul style="list-style-type: none"> 家庭にも学校から、不安ごとを解消できるような介入など、アプローチしてほしい。 不登校について、家族以外の人へも話す機会がほしい。第三者がよき理解者になってもらえると、親のメンタルヘルスにとっていい。 |
| | 保護者間 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者の横のつながりがほしい。 |
| 学校全体 | 居心地の良い空間 | <ul style="list-style-type: none"> 時間が区切られていることが苦痛になる子もいる。また、一人になりたくても、みんながいる場所で過ごすことを強いられ、そこを離れる場合には許可が必要となる。指定された場所ではなく、自分がいたい場所で、リラックスできると、帰宅時のわが子の表情も今とは違うと思う。エネルギーを残して笑顔でお家に帰ってこられる学校であってほしい。 親としては、子どもの安心・安全を確保してくれる環境に預けられるだけでも十分ありがたい。特別で優れたカリキュラムよりも、しやすい空間があってほしい。 |
| | 同調圧力からの脱却 | <ul style="list-style-type: none"> うちの子は、当たり前なこと(登校)が当たり前でできていないことへの罪悪感をかかえている(登校しないことで誰かに迷惑をかけているという意識もある)。そのため、学校を休んだ日に外出する際、子どもがコソコソしている。親も一緒にコソコソしなくてはならない。休んだ日に何をしてもコソコソしなくてよい学校が良い。みんながいる場所にいることが良いことで、いないことが悪いこと。そのようなとらえ方をされない学校が良い。 |
| | 自立に向けた学び | <ul style="list-style-type: none"> 「行きなさい」と言うのをやめ、仕事もやめた。それにより親子で過ごす時間が多くとれるようになったら、うちの子は荒れなくなった。学力より生きるすべを学ばせている。自立できるための学び(衣食住の確保、ヘルプの出し方等)を得られる学校であると良い。 比較される、評価のための学びではなく、生きるための活きた学びができるとうい。また、日本の学校は決められていることが多く、時間割もタイト。スローペースの子にとっては学ぶ前から疲れてしまう環境である。 社会を学べる場であると良い。将来を見据えて「こういう大人になっていけばいいな」、「こういう環境で働きたいな」と具体的なイメージが持たせてあげたい。 |

| 項目 | 内訳 | 意見 |
|------|---------|---|
| 学校全体 | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・学力の評価をされる場だと辛い。スポーツが得意だが、文武両道を求められると、スポーツもあきらめなければいけないことがある。 ・環境はハード面、ソフト面でどちらも充実していることが大切。人との縁も大切。選択肢を狭めないように。 ・いろいろな子がいるので、みんなにいい学校というのは難しいのではないか。 |
| 卒業後 | 進路 | <ul style="list-style-type: none"> ・オープンドアスクールに通った子の出口はどのようになっていくのか。 |
| その他 | 既存校での対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存校についてはどのように考えていくのか。並行して考え整えていかないとみんなオープンドアに通いたくなるかもしれない。 ・今いる先生を大切にしながら、今の環境の整備を柔軟にしてもらった方がいい。マンパワーが必要であれば、ボランティアなども募ってほしい。 |